



事例紹介

BOSSシステム(交配相談)を活用しよう!

— Best Operation of Super Sire —

⑮農家訪問 (株)赤羽根 PVファーム

東海近畿事業所 業務課長 門脇 賢治

これまで、BOSSシステムについて、14回にわたり紹介をしてきました。今号から実際にBOSSシステムを利用している牧場を訪問して利用者の方から見たBOSSシステムについてご紹介したいと思います。

今回は、愛知県田原市にある 株式会社赤羽根PVファーム（以下、赤羽根ファーム）でのBOSSシステムの導入から活用方法についてお話を伺いました。



お話を伺った鈴木健一さん

赤羽根ファームは、愛知県の南端の北は三河湾、南は太平洋、西を伊勢湾と三方を海に囲まれた渥美半島にあります。牧場からほど近いところには景勝地として有名な太平洋ロングビーチがあります。

現在、赤羽根ファームでは285頭の搾乳牛と6か月未満の50頭の育成牛がいます。これとは別に、北海道本別町へ育成牛120～130頭を預託しています。旧牛舎から、現在の新牛舎に代わったことで、蹄病が減少し、牛群の更新率が低下してきたそうです。現在は、長命連産を意識した牛群づくりに取り組んでいるとのこと。この頭数を鈴木基夫さん、和子さん夫妻と長男の規仁さん、次男の健一さんのご家族4名に加え、従業員10名（うち7名は外国人研修生）で牧場管理にあたっています。

今回お話を伺った健一さんは、大学卒業後いったん就職をされたそうですが、2014年より赤羽根ファームに戻り、現在に至っているそうです。BOSSシステムを交配プログラムで利用したきっかけについて伺いました。

健一さんは、牧場に戻ったあと交配プログラムの担当になり、牛群の斉一性を最大の改良の目標においたそうです。実際は、飼養頭数が300頭弱あることから、個体ごとの交配計画を考えることが難しく、特別な個体管理もできない状況もあり、牛群全体の交配提案をもらえるBOSSシステムを利用するようになりました。

健一さんは、「以前は外国の交配相談サービスを利用していたが、選別精液のメニューが少なかったこと」それに加え、「その中で選定された選別精液では、雄の出る割合が高かったこと」もあって、現在はBOSSによる交配プログラムに移行しました。

BOSSシステムを利用するにあたって、年に2回（評価成績が更新になったタイミングにあわせて）、東海近畿事業所から職員が牧場を訪問し、牛群をチェックしています。牛群の課題として上げられたのは、後乳房の高さ・後乳頭の配置・坐骨の位置などです。



牛群でみられる課題形質を補う種雄牛を選定するため要望を伺い、検索を何回か実施して最終リストとして固め、そのリストを利用して授精していただいています。現在、赤羽根ファームでは、BOSSシステム選定牛の①を用いて交配を実施中です。

牛群の体型での印象は、中型でバラツキが少ない牛群と見させていただいています。

交配頭数の振り分け目安として、牛群内で、乳器と体貌骨格に優れ、牛評（乳量・遺伝）の上位3分の1（約100頭）には乳牛のSort90若しくはFCMaxか通常精液を利用し、残りの3分の2（約200頭）には、個体の状況に応じて、体外受精卵を移植するか、F1を生産するなど、収益の確保にあてているそうです。

選定の結果として、赤羽根ファームでは、Sort90（選別精液）の供給可能な、エモーション、スーパーレ

ジェンド、エステイローダ、レジェンド（GH）を利用しています。

現在は、BOSS利用開始のころに授精した種雄牛の産子が育成に入り始めたところです。

乳牛精液を利用する検定牛を決めるために、いつでも見られるように、BOSSのクイックリストと担当獣医師が整理する牧場の繁殖台帳の情報をセットにして、精液ポンベのそばに置いています。これからは北海道に預託している未経産牛にもBOSSシステムで選定した種雄牛で授精してもらえないかと考えているそうです。

こうした取り組みを継続して、後代の確保と生産性向上のためにBOSS利用を続けていきたいとのことでした。

教えて BOSS (BOSS開発プロジェクトチーム)

改良情報を拝見すると、総合指数（NTP）の牛群平均での%順位^{*1}は13%、そのうち泌乳能力を示す産乳成分は9%と、全国でも上位となる遺伝的高能力牛群です。また、推定生産能力（EPA）^{*2}も良好で自家生産・育成の技術力も高いことが伺えます。

この高い遺伝能力と自家生産・育成の技術力を活かすことで、自家産牛での規模拡大の真っ最中ということは検定成績表から分かります。BOSSシステムを使って、Sort90を活用しつつ、初産牛の事故や食い負けなどの飼養管理を改善するとさらに計画的に規模拡大できるのではないかと思います。

補足)

* 1 : %順位

全国を100%とした時に、上位から数えて何%となるかを示しています。

9%とは、仮に全国8000戸とすれば、上位720番に相当します。

* 2 : 推定生産能力（EPA）

遺伝的能力（EBV）に哺育・育成などの効果を加えたもの。遺伝的能力とは異なりますが、哺育・育成が良ければ、当該牛の生涯わたり良い影響を与えます。このことから、恒久的環境効果と呼ばれています。

「三つ子の魂、百までも」とのことわざに例えられます。